

## これからの東雲の話をしよう

Ask not what Shinonome can do for you, ask what you can do for Shinonome

2025.12.16

皆さん、こんにちは。

2025（令和7）年度2学期の終業式にあたり、今日はこれからの東雲の話を皆さんと共ににしてみましょう。

皆さんも先月の新聞報道などでも既に見聞きしていると思いますが、ここ東雲は2029（令和11）年度から義務教育学校という形の新しい学校になります。義務教育学校と聞くと何か厳めしい感じがするかもしれません。新しい学校の正式な名称などはこれから皆さんのがんも聞きながら決めていけると良いなど私の中では考えたりしています。

また新しい学校をどんな学校にしていけると良いかななどということも私の中では皆さんの声をしっかりと聞きながら考えていくべきとも期待しています。2029（令和11）年度にはいま3年生の皆さんには18歳の成人、2年生や1年生の皆さんも17歳や16歳になっています。実は私も含めていまおられる東雲の先生方も2029（令和11）年度には、ここ東雲を旅立っている可能性も高いです。

それならば私たちにとっては、2029（令和11）年度に誕生する新しい学校は関係ないと思うかもしれません。しかしながら、例えば、だからこそ私たちが新しい学校の礎をしっかりと築き上げて、後輩たちにしっかりとバトンや襷を渡す役割を担うべきではないかという考え方もあるかもしれません。

こんなことを考えていたときに私の頭に浮かんできた文章があります。それが「これからの東雲の話をしよう」そして「東雲が私たちに何をしてくれるかではなく、私たちが東雲のために何ができるかを問い合わせてみよう」です。この二つの文章はある国の大学の先生の日本語版の書籍名とある国の大統領の演説の中の言葉の一部を、東雲に置き換えたものになります。

また詳しくは今後にですが、この冬休みにも皆さん自身のこと、ここ東雲のこと、そしてこれからの広島や日本や世界のことなども、皆さんなりに振り返ったり、多次元的に考えたりしながら、意義深い年末年始となることを願っています。

さて、最後になりますが、私から皆さんへのお願いです。これからの冬休みも悩み事やうまくいかないことなどが色々とあるかもしれません。くれぐれも一人で抱え込みすぎないで、私も含めた東雲の先生方、保護者の方々、習い事などの先生方、友達や皆さんのが信頼できる方々に遠慮することなくお話をしたり相談をしたりしてほしいと思います。冬休み明けの新しい年にも、生徒の皆さん、先生方、東雲に関わる全ての皆さんのが元気な姿で再会して、もっともっと「これからの東雲の話をしよう」となっていくことを楽しみにしています。